しょう6 こくご「スピーチ・討論・推薦文」 その3

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿　　がつ　にち　てん ＿＿＿＿ / 20

1　俳句の 上の 5音に 入る 言葉として、音の 数が 合うのは?

ア さくらんぼうや　**イ** せみ　**ウ** あさがおや　**エ** ひまわり　こたえ ＿＿＿＿

2　発表の 練習で、時間を 計りながら 通して 話して みるのは なぜ?

ア 聞き手の 人数を 数えて おく ため　**イ** スライドの 色を 決めて おく ため

ウ 決められた 長さに おさまるか 確かめる ため

エ 原こうを 覚えなくても すむ ように する ため　こたえ ＿＿＿＿

3　古典の 解説文に よく のって いる ことは?

ア 作品が 生まれた 時代の 様子　**イ** お店の 安売りの 日にち　**ウ** 明日の 天気予報

エ 今日の テレビ番組の 予定　こたえ ＿＿＿＿

4　報告文で、本の 文を そのまま 使わずに、短く まとめて 書く ことを 何と いう?

ア 引用　**イ** 音読　**ウ** 再反論　**エ** 要約　こたえ ＿＿＿＿

5　「ぼくは、ひとことも 言えなかった。ただ、にぎった こぶしが ふるえて いた。」この 表現から 分かる ことは?

ア すっかり 安心して ほっと して いる　**イ** 何も 感じずに 落ち着いて いる

ウ 心の 中に 強い 思いが ある　**エ** 寒くて 体が すっかり ひえて いる　こたえ ＿＿＿＿

6　同じ 出来事に ついて 書いた 二つの 文章で、筆者の 意見が ちがった。読む 人が すると よいのは?

ア 長い ほうの 文章を 信じる　**イ** 先に 読んだ ほうを 正しいと 決める

ウ それぞれの 理由を 比べ、自分の 考えを もつ　**エ** 意見が ちがうので 両方 読まない

こたえ ＿＿＿＿

7 考えを 広げる 話し合いで 大切な ことは?

ア 声の 大きい 人の 意見に 合わせる　**イ** いろいろな 意見を 出し、よさを 認め合う

ウ 一つの 意見に すぐ 決めて しまう　**エ** ちがう 意見は 聞かない ように する

こたえ ＿＿＿

8 推薦文に 必ず 書いて おきたい ことは?

ア 自分の 住所と 電話番号　**イ** 昨日 見た ゆめの 話　**ウ** 関係の ない 天気の 話

エ すすめる ものと、その よさ　こたえ ＿＿＿

9 討論で、テーマに 賛成する 側を 何と いう?

ア 聞き手　**イ** 否定側　**ウ** 司会　**エ** こうてい側　こたえ ＿＿＿

10 本を 読んで 考えが 広がった ことを 友だちに 伝える とき、よいのは?

ア 読む 前と 後で 何が 変わったかを 話す　**イ** 本の ねだんと ページ数を 話す

ウ これまでに 読んだ 本の 数を 話す　**エ** あらすじを 最初から 全部 話す　こたえ ＿＿＿

11 推薦文の 終わりに 書くと よいのは?

ア 本の 最後の 一文を そのまま 書き写す　**イ** 「ぜひ 読んで ください」と 呼びかける

ウ 本を 図書室で 借りた 日付を 書く　**エ** 物語の 結末を 細かく 説明する　こたえ ＿＿＿

12 物語の 全体を 通して、作者が もっとも 伝えたい 思いや 考えを 何と いう?

ア 題名　**イ** 主題　**ウ** あらすじ　**エ** 場面　こたえ ＿＿＿

13 同じ 話題の 二つの 文章を 読み比べる ときの 観点として ふさわしいのは?

ア 何ページ目に のって いるか　**イ** どちらの 文字が 大きいか　**ウ** どちらの 紙が 白いか

エ 結論が どこに 書かれて いるか　こたえ ＿＿＿

14 推薦文を 書き始める 前に、まず 考えて おくと よい ことは?

ア 何時に 書き終えるのか　**イ** どの 色の ペンで 書くのか　**ウ** 何まいの 紙を 使うのか

エ だれに すすめるのか(読む 相手)　こたえ ＿＿＿

15 二つの 説明文を 比べて、どちらが 分かりやすいかを 考える ときの 手がかりとして よいのは?

ア 本が 売られて いる 町　**イ** 筆者の 年れい　**ウ** 図や 例の 使い方　**エ** 本の 表紙の 色

こたえ ＿＿＿

16 討論で 相手の 意見に 反論する とき、守りたい ことは?

ア 相手の 話し方の くせを 取り上げる　**イ** 相手の 意見を 聞かずに 話し始める

ウ 人では なく 意見の 中身に 対して 述べる　**エ** 大きな 声を 出して 相手を だまらせる

こたえ ＿＿＿

17 報告文の 文末として ふさわしいのは?

ア「〜だった ような 気が するなあ。」　**イ**「〜と いう ことが 分かった。」

ウ「〜じゃないかなと 思うんだよね。」　**エ**「〜だったっけ、よく 覚えて ない。」

こたえ ＿＿＿

18 「たけるは、自分の 当番では ない 日も、だれよりも 早く 教室に 来て 花に 水を やった。」たけるの 人物像として 合うのは?

ア 目立つ ことが 好きで、ほめられたがる　**イ** きまりを 守る ことが 苦手だ

ウ めんどうな ことは 人に まかせる　**エ** まじめで、人が 見て いない ところでも 働く

こたえ ＿＿＿

19 物語の 中で、空の 様子が「どんよりした 雲」から「晴れわたる 空」に 変わった。この 表現の 効果として 考えられるのは?

ア 物語が 始まる 前の 話に もどる　**イ** 人物が 遠くへ 引っこした ことを 表す

ウ 人物の 気持ちが 明るく なった ことを 表す　**エ** 季節が 冬に 変わった ことを 表す

こたえ ＿＿＿

20 スピーチで グラフを 見せる とき、話し方で 気を つけると よい ことは?

ア グラフを 後ろ向きに 持って 話す　**イ** グラフを 見せたら 何も 説明せずに 待つ

ウ グラフの どこを 見て ほしいかを 言葉で 示す　**エ** グラフは すぐに しまって 見せない

こたえ ＿＿＿

こたえと かいせつ　しょう6 こくご「スピーチ・討論・推薦文」 その3

1　**ウ あさがおや**

指を 折って 数えよう。

2　**ウ 決められた 長さに おさまるか 確かめる ため**

本番の 前に ためして おく。

3　**ア 作品が 生まれた 時代の 様子**

作品を 読む 手がかり。

4　**エ 要約**

要点を ちぢめる。

5　**ウ 心の 中に 強い 思いが ある**

言葉の かわりに 体が 語って いる。

6　**ウ それぞれの 理由を 比べ、自分の 考えを もつ**

どちらの 理由に なっとくできるか。

7　**イ いろいろな 意見を 出し、よさを 認め合う**

まずは たくさん 出す。

8　**エ すすめる ものと、その よさ**

何を、なぜ すすめるのか。

9　**エ こうてい側**

反対する 側は「否定側」。

10　**ア 読む 前と 後で 何が 変わったかを 話す**

何が どう 変わったか。

11　**イ「ぜひ 読んで ください」と 呼びかける**

読む 人を 行動に さそう。

12　**イ 主題**

テーマとも いう。

13　**エ 結論が どこに 書かれて いるか**

書き方の ちがいを 見る。

14 **エ だれに すすめるのか(読む 相手)**

相手に よって 書き方が 変わる。

15 **ウ 図や 例の 使い方**

読む 人を 助ける くふう。

16 **ウ 人では なく 意見の 中身に 対して 述べる**

相手を せめるのでは ない。

17 **イ 「〜と いう ことが 分かった。」**

書き言葉で、はっきり 書く。

18 **エ まじめで、人が 見て いない ところでも 働く**

当番で ない 日も、早く 来て いる。

19 **ウ 人物の 気持ちが 明るく なった ことを 表す**

景色と 気持ちを 重ねて いる。

20 **ウ グラフの どこを 見て ほしいかを 言葉で 示す**

聞き手の 目を 大事な ところへ 向ける。